

平成 28 年 9 月 14 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1
オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 森 正治
(コード番号 4564 東証マザーズ)
(問い合わせ先) 取締役管理本部長 山本和男
電話番号 044-820-8251

共同研究者のシカゴ大学グループからの論文公表に関して

当社が新規抗がん剤（低分子化合物）を開発中のタンパク質メチル化転移酵素SMYD3 (SET and MYND domain-containing protein 3) に関して重要な働きが見つかり、共同研究者のシカゴ大学医学部・中村祐輔教授のグループによって論文が公表されました。

この酵素は、多くのがんにおいて発現が増加していること、また、がん細胞の増殖に不可欠であることがわかっております。今回の研究では、この酵素が細胞質内に存在するSer/ThrキナーゼAKT1 (v-Akt Murine Thymoma Viral Oncogene Homolog 1) をメチル化すること、また、そのメチル化がAKT1の活性化に必要であることが明らかにされました。AKT1は様々ながん種で発現が亢進しており、がん化において重要な役割を担っていることが知られています。本研究成果によって、SMYD3が、AKT1のメチル化阻害を通じて有望な抗がん剤標的となり得ることが示されました。

なお、本研究には当社研究者も参加し、AKT1のメチル化阻害の影響に関するデータ解析を行いました。今後、開発スピードをさらに速めて、がん治療に貢献していきたいと考えております。なお、本件による当社業績への影響はありません。

なお、本論文はOncotarget誌にオンラインで公表されております。

([http://www.impactjournals.com/oncotarget/index.php?journal=oncotarget&page=article&op=view&path\[\]=11898&path%5B%5D=37671](http://www.impactjournals.com/oncotarget/index.php?journal=oncotarget&page=article&op=view&path[]=11898&path%5B%5D=37671))

以上